

東アジア映画館史研究の最前線

白井啓介著『銀幕發光—中国の映画伝来と上海放映興行の展開』（作品社、2019）をめぐって

データベースやデジタル・アーカイブの普及により、映画の東アジアへの伝来をめぐり研究環境や手法は大きく変化しつつあります。デジタル時代の映画史研究のこれからを、『銀幕發光—中国の映画伝来と上海放映興行の展開』の著者、白井啓介先生を迎えて議論します。



日時：2019年7月28（日）10:30～12:30

会場：関西大学梅田キャンパス

〒530-0014

大阪府大阪市北区鶴野町1番5号 TEL 06-4256-6410

阪急梅田駅（茶屋町口改札口）から徒歩約5分。

JR大阪駅から徒歩約10分。

【アクセスマップ】

<http://www.kansai-u.ac.jp/umeda/access/>

* 阪急梅田駅（茶屋町口改札口）を出て東側にある「ユニクロ大阪店」と「イースクエア茶屋町」の間の道を東へ直進。新御堂筋の交差点を渡り左折して北へ直進。「スターボックス」のある黒いビル。

プログラム

【総合司会】好並晶（近畿大学）

10:30～ ① 中国映画興行史の立場から
菅原慶乃（関西大学）

10:50～ ② 日本映画興行史の立場から
上田学（神戸学院大学）

11:20～12:30

③ 白井啓介先生（文教大学）からのコメント
全体討論